自立活動 学習指導案形式 (群馬県教育委員会)

自立活動は、一人一人の実態に対応した活動であり、 よりよく生きていくことを目指した主体的な取組を促す 教育活動である。

- ・年間指導計画、個別の指導計画、流れ図との関連を踏り まえ、学習指導案を作成する。
- ・個別の指導計画、流れ図等を添付し、学習指導案との 関連を示す。

「流れ図」: 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編(平成30年3月)で示された、「実態把握か ら具体的な指導内容を設定するまでの流れの例しのこと。

【児童(生徒)の実態】

・「個別の指導計画」及び「流れ図」記載の「②-2収 集した情報(①)を学習上又は生活上の困難や、これ までの学習状況の視点から整理する段階 | 、「③ ① をもとに②-1、②-2、②-3で整理した情報から 課題を抽出する段階」の記載内容等と関連させて、本 学習指導案に関わる実態を記述する。

<記載例>「~は難しいが、(~の支援)により、~できる。」

【評価規準】

・「個別の指導計画|及び、「流れ図|記載の「⑧具体 的な指導内容を設定する段階|と関連させて記述する。 <文末例>「~している。」など。

【指導の計画】

・「年間指導計画」及び「個別の指導計画」と関連させ、 単元(題材、主題)の学習活動を、単位時間ごとに一 文で簡潔に記述する。

フォントサイズ・・・原則:10.5P、小:9.0Pまで 児童(生徒)数によっては、様式を横方向に使用する。

自立活動学習指導案

単元名 (題材名、主題名)「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 ~~~~~~~~

> 令和○年○月○日(○)第○校時 ○○○○教室 ○○立○○学校 ○○○○学級 (△△△△学級) 指導者 ○○ ○○ (T1) ○○ ○○ (T2)

I 単元 (題材、主題) の構想

1 単元 (題材、主題) の目標及び児童 (生徒) の実態

児童 (生徒)	児童 (生徒) の実態	個人目標 【指導目標を達成するために必要な項目】
Α		•
(〇年)		[()][()][()]
	•	
	•	
в	•	
(〇年)		[()][()][()]
	•	
	•	
	(生徒) A (〇年)	(生徒) 児童 (生徒) の実態 A ・ (○年) ・ B ・

2 証価相准

_ ==	m/30		
Α			
В			

3 指導及び ICT 活用の計画(全〇時間:本時第〇時)

時	学習活動	
1~2	. ~~~~~~	
3~4	. ~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	
5~6	· ~~~~~~, (b)	
7~8	. ~~~~~~~~	
9~10	· ~~~~~~~ (c)	
11~12	. ~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	

*活用するコンテンツ等:(a)

【単元名(題材名、主題名)】

単元…各教科等において、一定の目標や主題を中心とし て組織された学習内容の有機的なまとまりを示す もので、学習に順序性があり、計画から実際の学 習の展開、まとめを一連の活動として設定してい るもの。

題材…教科における系統性を背景にもった学習活動の材 料であり、学習活動のまとまりとして設定してい るもの。

主題…指導を行うに当たって、何をねらいとし、どのよ うに教材を活用するかを構成する指導のまとまり を示すものであり、「ねらい」とそれを達成する ために活用する「教材」によって構成されるもの。

※単元、題材、主題を用いるかは、上記のことを踏まえ て授業者が判断する。

- ・児童(生徒)にとって分かる、あるいは児童(生徒) が活動をしやすい言葉や言い回しで記載する。
- ・配当時数が多い場合については $[\sim \cap \cap \cap \cap \sim \mid e$] 題を付け、本時で取り組む内容やねらい等を記載する。

【個人目標】

・「個別の指導計画|及び「流れ図|記載の「⑤ ④に 基づき設定した指導目標を記す段階」の記載内容を参 照し、記述する。

<文末例>「~することができる。」など。

【指導目標を達成するために必要な項目】

・「自立活動 内容6区分27項目」及び「流れ図」記載の 「⑥ ⑤を達成するために必要な項目を選定する段階 の項目」を参照し、記載する。

【活用するコンテンツ等】

・参観者が後に参考とできるように、学習で使用する WebのURL情報等を(英小文字)の後に記述する。

例(a) http://www.nc.gunma~~~~~ 等

※(a)等は、指導の計画の中に位置付ける。

【ねらい】

- ・「学習活動+本時に育成を目指す資質・能力」とし、 **教師の立場**で、児童(生徒)一人一人について、具体 的かつ簡潔に記述する。
- ・どの単位時間でも同じ記述にならないように、単元 (題材・主題) における本時の位置付けを明確にする。
- ・参観者が「ねらい」を見ただけで、授業の主たる学習 活動や目標をイメージできるように記述する。(授業 の視点となる)

【めあて】

· 「ねらい」を達成するために「**何を**」「**どのように**」 **学ぶのか**など、学習の見通しを明確に意識できる**児童** (生徒) 向けの言葉を記述する。

【主な学習活動】

- ・番号を付け、**児童(生徒)の立場**で、具体的かつ簡潔 に記述し、時間は大まかに(○分)で示す。
- ・「導入」「展開」「終末」の区切りは実線罫線とする。

【予想される児童(生徒)の意識】

・本時の「**ねらい」の到達に向かって、児童(生徒)の** 意識を想定し、変容していく様子を表現する。

【まとめ】

「めあて」に正対する答えや内容となるよう意識し、 育成を目指す資質・能力とつながるものとする。

【振り返り】

・本時の学習の取組全体を見返し、自分が学習したこと についての理解度や変容したこと、学習したことと他 の学習や生活などとの関連付けなど、振り返りの視点 を踏まえ、記述する。

Ⅱ 本時の学習(●/●)

- ○○ (本時に育成を目指す資質・能力) ができるようにする。

2 展 開				
主な学習活動		れる児童(生徒)の意識 ○指導上の留意点 ◆評価項目		
	A	B		
1 前時の学習を振 り返り、本時のめ	<めあて>	 		
あてをつかむ。	~~~	~~~,		
のCをJがも。 (O分)	s:~~~~~~~	S:~~~~~		
	~~~~,	~~~~,		
	〇~~~できるように、~~~を促す。	○~~~できるように、~~~を促す。		
	(伝える。) (問いかける。)	(伝える。) (問いかける。)		
		177		
2 集団で(個人	S:~~~~~~~	s:~~~~~~		
で)~~~~~	~~~~,	~~~~,		
~~~~する。	○~~~できるように、~~~を促す。	○~~~できるように、~~~を促す。		
(O分)	(伝える。) (問いかける。)	(伝える。)(問いかける。)		
	○~~~できるように、~~~を助	○~~~できるように、~~~~を助		
	言する。	言する。		
3 集団で(個人	\$:~~~~~~	s:~~~~~~		
で)~~~~~		~~~~		
~~~する。	○~~~できるように、~~~を促す。	○~~~できるように、~~~を促す。		
(O分)	(伝える。) (間いかける。)	(伝える。) (問いかける。)		
	〇~~~できるように、~~~を助	〇~~~できるように、~~~を助		
	言する。	言する。		
	◆評価項目	◆評価項目		
	~~~~の発言(行動、ワークシート	~~~~の発言(行動、ワークシート		
	の記述内容など) から (A)、「~~~~ ~~~~~~~について考え、表現し	の記述内容など) から (A)、「~~~~ ~~~~~~~について考え、表現し		
	ているか (B)」を評価する。	ているか (B)」を評価する。		
4 本時のめあてに	○~~~できるように、~~~板書す	○~~~できるように、~~~板書す		
対するまとめを確	る。(提示する。)	る。(提示する。)		
認し、学習内容の	○~~~できるように、~~~称賛す	○~~~できるように、~~~称賛す		
振り返りをする。	వే.	ప ం		
(O))	<まとめ>	<まとめ>		
	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~		
	~~~。	~~~。		
	<振り返り>	<振り返り>		
	S: AAAAAAAAAAAAAAAA	S: AAAAAAAAAAAAAAA		

【指導上の留意点】

- ・個々の生徒が自立を目指し、主体的に取り組む授業を 実現し、授業の「ねらい」に迫るための手立て(教師 による直接的な働きかけや環境の構成)を記述する。
- 「(児童(生徒)が)~~~できるように、~~~す る。| と、「**目的+手立て**| で記述する。
- ・児童(生徒)の特性に応じた対応や手立て、具体的な 教材の提示についても記述する。

例:直接的な働きかけ

「問いかけ(発問)| 「ゆさぶり| 「助言| 「促し| 「考えの取り上げ方やつなぎ方」「称賛」 等

例:環境の構成

「グループの編成|「座席の配置|「コーナーの設置| 「教材、教具の用意|「目標、学習計画の掲示| ※「どのような」「どのように」を具体的に記述する。

- ・環境の構成に関わる「コーナー」や「教材、教具」な どを具体的に記述しにくい場合は、文末に【別紙参 照】などと示し、資料として画像や図を添付すること も考えられる。
- ・つまずきが見られる状況と判断される場合の手立てに ついても記述する。
- ・ICTについて記述する際は、教師がその有用性を捉えて 「いつ、どこで、どのように」活用するか位置付けた り、児童生徒が自らの学習に活用できる環境を整えた りすることが重要となる。

【評価項目】

・「2 評価規準 | を踏まえ、本時において、どのよう な評価材料(A)から、どのような姿を見取り(B)、 **評価する**のか」を明確に記述する。

※詳細については、自立活動学習指導案例を参照する。